



大鳥居をくぐって神殿に向かう生きびな始め巡行のみなさん

春を呼ぶ「生きびな祭り」  
艶やかに

一之宮まち協だより

第36号

平成29年5月1日

一之宮町  
まちづくり協議会  
広報部

高山市一之宮町3087

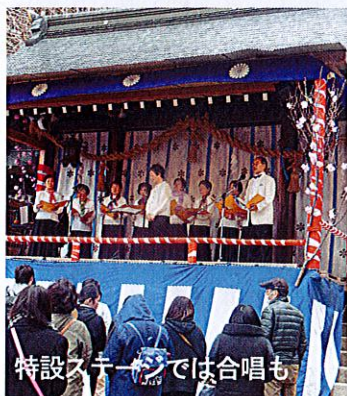
電話 53-2424

水無神社の「生きびな祭り」が4月3日、宮川河川敷の駐車場が満車になるほどの人を集め盛大に行われました。

一之宮町出身の坂本亜友美さんと香賀由佳理さんを始め、飛騨地域から選ばれた9名の女性が、平安朝を偲ばせる装束を身にまとい、稚児や神社総代等100名余りとともに一之宮橋までを練り歩き、時代絵巻を繰り広げました。

生きびなによる恒例の餅まきの頃には雨が降り出し、袋に入れたひし餅や繭の形の団子の後にはかます(俵)も投げられ、見物客は、われ先にと駆け寄っていました。

境内では「まゆびな」などの販売コーナーも設けられ、特設ステージでは合唱の「ハーモニー&ハーモニー」などの演奏も披露されました(山腰)。



特設ステージでは合唱も

宮 再発見!

水無神社の濁り酒

その中で熟成しているのので、今年も美味しいお酒ができるだろうと言ってみました。

例年ドブは試楽祭と御旅山で一般の人に振舞われますが、今年は大祭中に時間限定で振舞われるそうです。量は例年より多い1000ℓ造られたそうですが、仕込み樽が2つ

大祭のお客もてなす祝い酒

3月20日に仕込まれた濁り酒(通称ドブ)が今発酵中で、静かに出番を待っています。

ドブ長の的場育三さんは、良い酒造りには、米、水、風土の3つが必要と言われました。



熟成して本番を待つドブ

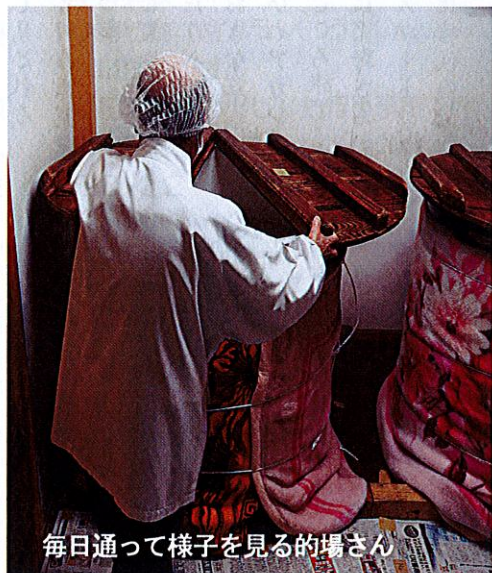
米は一之宮産の「ひだほまれ」を使い、水は神社の井戸から深さ60mの地下水を使っています。また、風土とは周りの環境のことで、土蔵の適温の中で、毎日様子見に登庁される的場さんの手入れであり、土蔵横を通る参拝者の声だと言われました。

しかなく、量が限られ、限度を決め、予定分が無くなり次第終了とのことでした。

的場さんは、大祭の来客者に少しでもドブでほっとしてもらえればうれしいと話してみました。

ドブは、4月末に、税務署の検査を経て、酒税を収め、晴れの大祭の日を待っています。

(山腰)



毎日通って様子を見る的場さん



# 水無神社式年大祭あれこれ

五

## 飛騨一宮水無神社式年大祭齋行に向けて (大祭事務局)

### 大祭齋行に向けて 高まる想い

57年ぶりに行われる宮の大祭の齋行が迫る中、ご参向いただく神社や参拝される方々をお迎えする準備が各所で進められています。



準備も整い大祭本番を待つ神社



本番向け練習に励む雅楽のみなさん

また、雅楽と舞を奉仕する伶人や巫女、鬮鶏楽当番と伝承会の子供による合同稽古、神代踊、獅子舞も夜間稽古を行い、敬神婦人会は地域ごとに袴の着付け講習会を開催、皆様それぞれの大きに臨む熱い気持ちがいっぱい詰まっています。

神社周辺に

おいても杉アチや行燈の設置、境内では仮設テントやスロープの設営が急ピッチで進み、どぶろくの仕込み、御来賀や氏子、奉賛者の方々にお渡しする記念品の奉製など、お迎えの準備も整いつつあります。



神々を迎える準備も整った本殿

昔の賢人は、ものごとを成すには『天の時、地の利、人の和』が重要であると説かれました。深い意味があり、中でも『人の和』が何よりも重要である」とされますが、小難しいお話はさておいて、いにしえより大御神を中心にして栄えた町で行われる大祭でございます。訪れた人々に『ええ祭りやった』、『良いお祭りでしたね』とおっしゃっていただけのように、大祭の担い手として青年や壮年が自分の力を発揮して町が活性化し、老人と子供が安心して暮らせる平和な町となるよう、皆様が大祭に込められる想いが成就する様に願います。

大祭奉賛会事務局や各部では打合せや現場確認が連日夜遅くまで、ご奉仕をいただく方々と入念に打ち合わせを行っています。



長寿会の奉仕で境内はきれいに

## 一筆 啓上 気の向くままに

### トマト栽培の醍醐味は成長する姿

黒木 甚右エ門 さん (段)

私は昭和33年に農家の長男として生まれ、高校を卒業して地元で就職しましたが、26歳からは家でトマト栽培を始めました。

それまでトマト作りの知識も経験も無いのによくそんな事を始めたな、と今になって思うようになりました。親戚や知人、関係機関のお陰と深く感謝しているところです。



息子のトマト作りを指導する黒木さん

始めた頃は何をやるにもうまく行かず失敗の連続でした。家族の応援(特に母には迷惑を掛けたと思います)により、トマト作りを続けて今年で35年目になります。

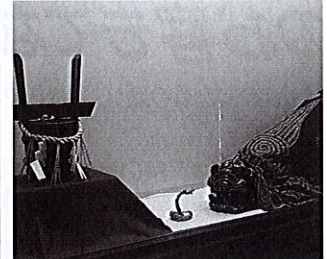
その間には、豊作でトマトの値段も良く、儲かった年もあれば、天候不順等で不作の年、豊作でも値段が安くて儲けがなかった年など、色々なことがありました。特に大変だったのは、台風が直撃してビニールハウスが倒壊したこと。その時のショックは何とも言葉では言い表すことができません。

しかし昔から「実の成る物作りは楽しい」という言葉があるように、トマト作りは楽しい。苗が太陽の光を浴びて、水や養分を吸収しながら少しずつ成長し、花を咲かせ実を付け大きくなる姿は、まるで子どもたちの成長を見ているかのように思えるからだと思います。

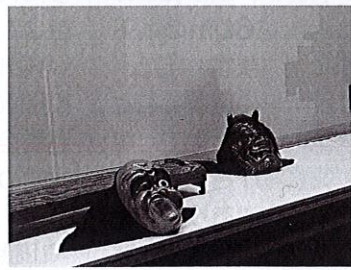
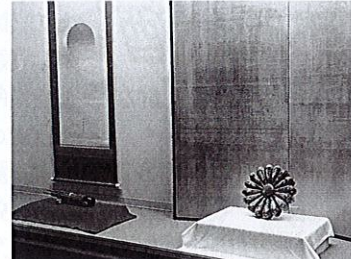
天候に左右される野菜作りですが、トマト農家の人たちの間では、「天候に左右されない栽培を」を合言葉に頑張っています。自然相手なので難しく、毎年1年生みなど品質の良い美味しいトマト作りに、これからも頑張っていきたいと思っています。

## 祝 大祭 飾り物展

大祭にちなんで、一之宮公民館では飾り物展を開催しています。



祭礼祝い酒用の樽や獅子頭、ひよつとこやおかめ、鬼の面、舞の鈴やひちりき、琴、それに旧社殿の御紋章などが飾られています。一昔前の祭礼に使われていた、どれも貴重なものばかりです。



### 一之宮短歌会作品より

青空を一直線に区切り分け飛ぶ飛行機雲に暫し見とれる 三木藤次郎  
宮川の源流深く沈む陽は棚引く雲を赤く染め 三木藤次郎  
七父や七夫の育てし庭木の想い出と共に生き 永田和子  
たり八十余年を 永田和子  
おきな草ネジ花タンポポ野いちごを摘んで遊びぬアカシアの下 永田和子  
こころ旅ごくく私的なドキュメント津々浦々に火野さんが行く 森本浩資  
スマートフォン今の事件に即反応世界の異文化時代の先駆け 森本浩資



# 図書館案内



この春、ガーデニングを始めませんか？図書館には、種まきや水やりのポイントなど、初めての方にもわかりやすい実用書があります。ぜひご利用ください。

## <一之宮分館開館時間変更のお知らせ>

5月3日(水)～5日(金)の開館時間は午後1時～5時です。期間中、上記以外の時間帯は閉館となりますのでご注意ください。本の返却は返却ポストをご利用ください。

## <今月の特集>

### ★「井伊直虎と戦国の武将たち」

NHK大河ドラマの主人公、井伊家滅亡の危機を救った女城主「井伊直虎」と戦国時代の武将に関する本を集めます。

## <雑誌コーナーより>

新たに『ひよこクラブ』が仲間入りしました。

## <おはなし会のご案内>

5月20日(土) 午前10時30分～ スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

# 5～6月行事予定

## 5月

- 2日(火) 水無神社例祭
- 3日(水)～6日(土) 飛騨の大祭
- 11日(木) 行政相談(支所)
- 12日(金) まち協事業発進会(臥龍郷)
- 18日(木) 防災集会(公民館)
- 23日(火) 町内会長会
- 24日(水) 結婚相談(交流館)

## 6月

- 1日(木) 行政相談
- 7日(水) 結婚相談
- 10日(土) サタディサークル開講式
- 18日(日) 市消防操法大会
- 20日(火) 町内会長会

| 年齢     | 男性    | 女性    | 合計    | 前年増減 |
|--------|-------|-------|-------|------|
| 0～14歳  | 172   | 159   | 331   | -10  |
| 15～64歳 | 686   | 708   | 1,394 | +6   |
| 65歳以上  | 344   | 475   | 819   | +11  |
| 合計     | 1,202 | 1,342 | 2,544 | +7   |
| 世帯数    | 824戸  |       |       | +15  |

平成29年4月1日現在

## 一之宮町の人口情勢(人)

# ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

さつき

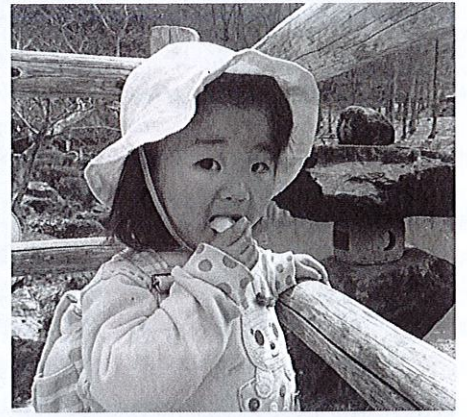
彩月ちゃん 平成27年5月23日生まれ

お父さん:福田 和世さん 《段》  
お母さん:福田 有香さん

この5月で2歳になる彩月。最近暖かくなってきて砂や水に興味津々！お兄ちゃんのやることを色々と真似して、わたしたちを和ませてくれます。

予定日は6月だったけど、5月生まれなら“さつき”か“めい”にしたいと思っていました。

そして、5月末に無事わたしたちの



ところに来てくれて、お兄ちゃんと同じく名前に“つき”が入る“さつき”になりました。

映画に出てくるサツキちゃんのように、自然の中でたくさん遊んで、笑って大きくなって行ってね！

# お知らせ

## ■大祭期間中の公民館・交流館営業時間について

大祭に伴い公民館と交流館の営業は下記の通りとなりますのでお願いします。

◇一之宮公民館

2日休館、3～6日は昼間のみ開館  
8日の月曜は休館

◇交流館

2日休館、3～6日は昼間のみ開館  
(ただし図書館は午前中休館)、8日の月曜は開館

## ■宮峠トンネル説明会の案内

国道41号 石浦バイパス(宮峠トンネル)の事業の進捗状況や今後の予定等について、次のとおり説明会を開催します。

◇日時 5月9日(火) 19:30～

◇会場 一之宮支所 大会議室

◇内容 除雪センター移転計画について、ほか

## ■高山市老人福祉計画、第7期介護保険事業計画の市民懇談会について

高山市では今年度、高齢者の方が地域で安心して暮らすために定めている老人福祉計画・介護保険事業計画を新たなも

のとします。そこで広くみなさまからご意見・ご提案をいただき計画策定の参考とするための市民懇談会を開催しますのでご参加ください。事前申込みは不要。

◇日時:6月2日(金) 午後7時30分

◇会場:一之宮支所会議室

## ■虫歯予防を学びましょう

初めてかわいい歯が生えたときの感動は忘れられませんね…。しかしそれとともに「虫歯」のことが気かりになるものです。そこで、日ごろの生活の中で気を付けるというポイントなど、歯科衛生士から教えていただきます。

◇日時:5月23日(火)

午前10時～11時30分

◇場所:一之宮公民館第1研修室

◇対象者:高山市在住の0～3歳の乳幼児親子

◇定員:先着20組

◇講師:村瀬陽子歯科衛生士

◇参加費:無料

◇持ち物:歯ブラシ、うがいコップ、

口拭きタオル

当日は「染め出し」も行う予定です。

申込みは一之宮支所地域振興課

53-2211まで

つづやまき……  
五十七年ぶりの大祭も前にせまりました。皆さんも何がしかの役を分担されているかもしれないが、私は渡御される飛騨中の神社を迎えるアナウンス原稿書きを仰せつかりました。作業を始めて思ったのは、飛騨にいかにかくさんの神社があるか、でした。これは、昔は生活するうえで災害などさまざまな苦労が多く、神に祈ることを心の支えにすることで苦労を紛らわせていたということとが、あつたのではないかな、と思いましたが、もうひとつは、地名や神社名で難しい名前が多いことです。間違いがあつては失礼にあたるので、細心の注意で最後のチェックをしているところ。さて、どんな四日間になるやら、たくさんの方の期待とちよっぴりの不安をもって臨みましょう！ (中島)



## 保育園・小学校・中学校で入学（園）式 75人の子も達が希望を胸に新たなスタート

4月はスタートの月。入学（園）式で子ども達もそれぞれ新しい一歩を踏み出しました。

4月5日は宮保育園で入園式があり、3歳未満児保育からの進級を含めて27人が年少児として入園しました。小学校では4月6日に入学式が行われ、23人が入学しました。入学式に出席した國島高山市長からは、記念品の木製の物差しが代表の荒井朱寿花（すずか）さんに手渡されました。在校生からは歓迎のこ

とばや合唱「この星に生まれて」が贈られました。

宮中学校では4月7日に入学式が行われ、25人が入学しました。入場して席に着いた1年生は、担任から名前を一人ひとり呼ばれると、「はい」と返事をして次々と起立。新中学生としてのきびきびとした動きが印象的でした。

## 町ぐるみの環境整備 未加入者に呼びかけ

毎年4月の第一日曜には環境整備が行われますが、今年は2日に実施されました。

今年は多かった雪の影響で倒れた公園の木を取り除いたり、用水の土砂上げをしたり、道路脇の掃除など、各地区、それぞれにちじた作業が行われました。

この日は天気も良く作業がはかどおり、多くのボランティアにより環境整備がなされ、美しい一之宮になったと思います。



倒木を処理する住民のみなさん

今年も班に入っていない人への呼びかけもあり、一之宮町ぐるみの協同作業となりました。（山腰）



名前を呼ばれ起立する中学1年生

三輪太雄校長は、3年間で自分づくりをしてほしいなどと新入生に呼びかけ、新入生を代表して幅上泰地君が「部活と勉強を両立するよう頑張りたい」と力強く決意表明。2、3年生が「平和の鐘」を合唱して新1年生の入学を歓迎しました。

## 「ふるさと写真館」 交流館にオープン 一之宮の魅力再確認

飛騨位山文化交流館ロビーは陽射しの差しこむ明るい空間で、学生の勉強の場として、またコーヒーを飲みながら語り合う憩いの場として広く利用されています。

そのロビーに4月から「ふるさと写真館」がオープンしました。一之宮町の魅力を再確認してほしいとまち協文化教養部が企画したもので、19点の写真が撮影者の思いの文書を添えて飾られています。訪れた人達は、添え文を読んだり感想を話したりしながら写真を楽しんでいました。

今後は年に数回、季節ごとのテーマや自由テーマで写真を募集する予定です。みなさんも応募してみたいかがでしょうか。

あなたのお気に入りの一枚を、ぜひ「ふるさと写真館」へ！（野口）



展示されている写真見て談笑する来館者

## 宮小6年が臥龍ガイド 好評で観光案内に「役

宮小6年生の「臥龍ガイド」が4月24日に、ほぼ満開に近い臥龍桜をバックに行われました。

このガイドは平成16年から実施され、今回で14回目を迎える宮小独自の恒例授業です。

17人が4グループに分かれて、臥龍桜の歴史や台風19号での被害を克服した復活の様子、地域の宝として守り継がれていることなどを事前に勉強して画用紙に書いて説明しました。

## レクチャーの後、桜並木を健康ウォーキング 「臥龍桜・桜まつり」を同時開催でにぎわう

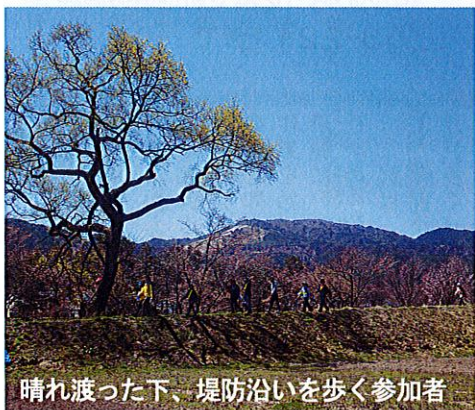
「健康づくりウォーキング」が4月23日に開催されました。

健康運動指導士の長畑三恵さんを講師に招き、歩き方や歩行姿勢などについて公民館でレクチャーを受けた後、参加者の市民約50名は、桜の花が咲く一之宮町内へウォーキングの実践に出かけました。

好天に恵まれたなか、宮川堤防の桜を眺めながら、体の各部分を意識しながらの健康ウォークで心地よい汗を流しました。

その後参加者は見頃を迎えつつある臥龍桜を訪れました。臥龍公園では桜まつりを開催中で、ウォーキング参加者特典のみだらし団子に舌鼓を打ちながら、しばらく舞台ショーなどを楽しみました。

今年の「臥龍桜・桜まつり」は、ちように臥龍桜の見頃と重なり、



晴れ渡った下、堤防沿いを歩く参加者

大勢の観桜客でにぎわいました。紅忍（くのいち）による豪快な太鼓演奏を皮切りに、コーラス、大正琴などの楽器演奏、日舞が披露され、最後は高山消防音楽隊の演奏で、臥龍桜を見に訪れたお客様を楽しませました。（中島）



観光客に一生懸命説明する6年生

訪れた観光客等からは好評で、説明が終わると拍手が起こり、一緒に記念撮影に収まったり質問されたりするグループもありました。